



# 「熊本の魅力を伝えたい」 中村勘九郎さん 宮崎美子さん

2月23日、大河ドラマ「いだてん」の出演者らによるトーク番組「金栗万博〜世界“最遅”ランナー金栗四三の軌跡〜」の公開収録が玉名市民会館で開催されました。  
(本収録の様子は3月15日に熊本県域で放送されました)

## 熊本での撮影が心の支え

主人公のひとり・金栗四三役の中村勘九郎さん、金栗さんの母・シエ役の宮崎美子さん、大河ドラマの大ファン松村洋さんが登壇。NHK熊本放送局の石井隆広・畠山衣美アナウンサーの進行で、撮影の裏話、熊本や金栗さんの魅力などが熱く語られました。

主人公のひとり・金栗四三役の中村勘九郎さん、金栗さんの母・シエ役の宮崎美子さん、大河ドラマの大ファン松村洋さんが登壇。NHK熊本放送局の石井隆広・畠山衣美アナウンサーの進行で、撮影の裏話、熊本や金栗さんの魅力などが熱く語られました。

も頑固。よくこんな良い子が育ったなあ」と母目線で語り、松村さんは「本当の弱さを知っているからこそ本当の強さを得たんでしょね」とその功績を振り返りました。玉名市でロケが行われたのは昨年5月。勘九郎さんは「景色やにおいは百年前も変わらなはず。実際に金栗さんが走った場所で走れるなんて、役者冥利に尽きます。金栗さんは絶対に故郷を大切にしている人なので、私も熊本の景色を

常に変えたいです」と撮影した当時を振り返りました。**熊本弁も見所の一つ**  
「ぎゃん」や「ぼってん」など、自然に熊本弁を使いこなす勘九郎さんが好きな言葉は「あとぜき」。方言のアドリブに大苦戦した勘九郎さんは、妻・シエ役の綾瀬はるかさんに方言がうまくなる方法を聞いたのだそう。「日頃も使うと良いですよ」と言っていたので、家でも熊本弁で話すようにしたら子どもの方が早く覚えて「どがんとと？」や「あとぜき！」を使っています」と明かしました。熊本市出身の宮崎さんは「絶対に熊本の人にしか分からない方言ですが、アドリブで『ずんだれてから！』と試しに言うと、方言指導の人に褒められました。少しずつ熊本の人にこそ分かるアドリブを入れていきたいですね」と意気込み、会場が湧き上がりました。



## 四三さんとスヤさんは理想の夫婦

金栗さんの遺品や写真がある小田の住家と歴史博物館こころピアも映像で紹介。宮崎さんは「住家の中に飾ってある金栗さんとスヤさんの写真が素敵で、とても感動しました。これぞ理想の夫婦だなと。ぜひ見に行ってください」とおすすめ。勘九郎さんは「博物館で、金栗さんがストックホルムの草花を押し花にして日記に挟んでいたものが発見さ

れたと聞いて、可愛らしいなと思いました。熊本の草花と似ているものを探っていたみたいで、本当に故郷が支えだったんですね」と思いを馳せました。

### 地元の盛り上がりを紹介

玉名女子高校食物科の廣田里緒奈さんと遠嶋花音さんが考案したどら焼き（「広報たまな」平成30年9月号掲載）

が紹介され、登壇者が美食。廣田さんと遠嶋さんは、中に入ったサツマイモや栗など地元食材の美味しさや、「頑張ってオリンピックに何度も挑戦した金栗さんに、私たちがから金メダルをイメージしたどら焼きを届けたい」という気持ちを話しました。勘九郎さんは「美味しい。金栗さんは甘いものが好きだったので、ぴったり。ぜひ商品化してほしい」と絶賛。収録後の二人は「緊張したけれど、お菓子

への思いを話せて嬉しかったです」と笑顔で話しました。勘九郎さんは「孤独やさまざまな困難に直面した金栗さんが、世界を相手にどう戦ったのか見守っていたかったです」と訴え「熊本は第二の故郷」と言葉に会場は大きな拍手に包まれました。

### 金栗さんを全国、世界に発信したい

収録後、玉名市民へのメッセージをいただきました。勘



1 会場と一緒に天狗ポーズ 2 玉名ロケの裏話 3 4 5 「体力・気力・努力」にちなんだ座右の銘を発表：勘九郎さん「腹筋・背筋・ひらめ筋」宮崎さん「天気・元気・のん気」松村さん「山本・ヨネスケ・金栗」6 小田の住家を紹介 7 だら焼きを披露 8 だら焼きを考案した廣田さん・遠嶋さん 9 だら焼きを食べて笑顔に 10 玉名市民へのメッセージを語る勘九郎さん・宮崎さん

宮崎さんは「このイベントに5倍の競争率で応募があったと聞いて、たくさんの人に応援していただいていることを実感しました。熊本の人には金栗さんをもっと誇りに思っていて、功績や人柄を全国に発信するきっかけにしたいです」と呼びかけ「玉名は歴史があって、古くから栄えたまち。底力のある地域だと思うので、その魅力も全国の皆さんに分かってもらいたいです」と笑顔で話しました。



# 勘九郎さんが金栗さんゆかりの地を訪問

いちごマラソン大会の後は、大河ドラマ館と小田地区で大歓迎!!



ドラマ館前では市民4人組の熱烈歓迎を受け、小田の住家ではおもてなしスタッフと記念撮影。

突然の訪問に市内各地であふれる笑顔と大歓声

2月24日、いちごマラソン、大河ドラマ館、小田地区へと中村勘九郎さんがサプライズ訪問。玉名市各地で大歓声が起きました。  
「金栗四三さん!」  
「いだてんがんばってね〜!」  
声援を送る小さな子どもたちに囲まれながら、勘九郎さんは握手やサインに快く応じていました。

「熊本は第二の故郷みたい」と話す勘九郎さん。熊本を訪れる際には必ず足を運ぶという金栗さんの墓前では、いつも「一生懸命演じさせていただいています」と報告しているそうです。

大河ドラマ館の来館記念メッセージには「金栗四三さんへ一年間、あなたと共に戦い、あなたと共に笑い、泣き、あなたと共に生きてきました。たいぎゃ好きばい!!」との言葉がつけられました。

子役・久野倫太郎くんも玉名に来訪、市長と歓談

2月5日、金栗さんの幼少期を演じた久野倫太郎くんが市役所を訪問。倫太郎くんの好物というラーメンやスポーツの話で市長と盛り上がりました。その後は、ランニング足袋を履いて玄関ロビーのミニトラックを走ったり記念撮影したり。素朴な演技とかわいい熊本弁で注目を集めた倫太郎くんは、地元熊本在住。この日撮影に参加した大河ドラマ館のテレビCMが、3月から県内や福岡地域で放送されています。



## 金栗さんゆかりの地マップ



**金栗四三周遊バス**  
市内の金栗さんゆかりの地を結ぶ無料シャトルバス。玉名駅発着で平日は1時間に1便、土日祝日は1時間に2便程度で運行します。



金栗さんの墓前に手をあわせる勘九郎さん。金栗さんが40年以上暮らした住家と金栗四三資料館では展示見学。